

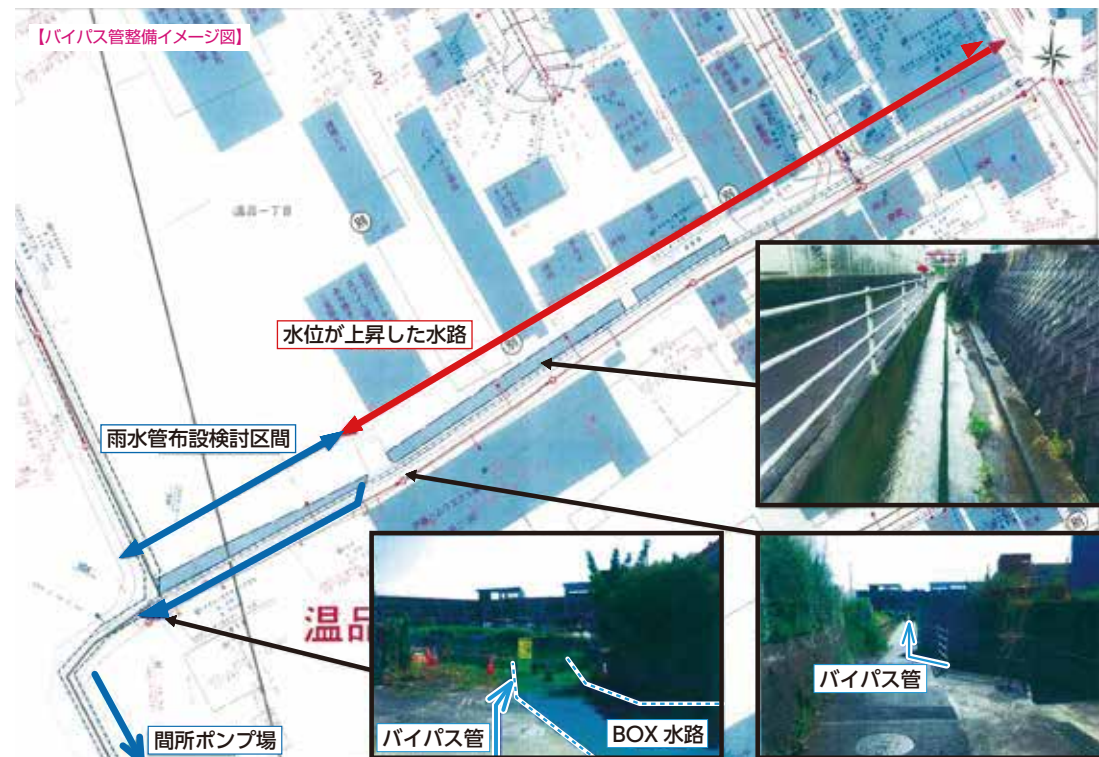


地域の思いをカタチに



■ 温品 間所地区の浸水防止対策

温品一丁目2番地と4番地の間を流れる水路横に新しくバイパス管を整備して流れをスムーズにし、水位上昇を抑制します。(令和7年度工事発注)



■ 福田2丁目、4丁目 街路灯新設

防犯対策として、通学路に街路灯を新設しました。



■ 馬木1丁目道路改良

まちの生活道路『広島中島線』は、地域のみならず、着実に改良を進めています。



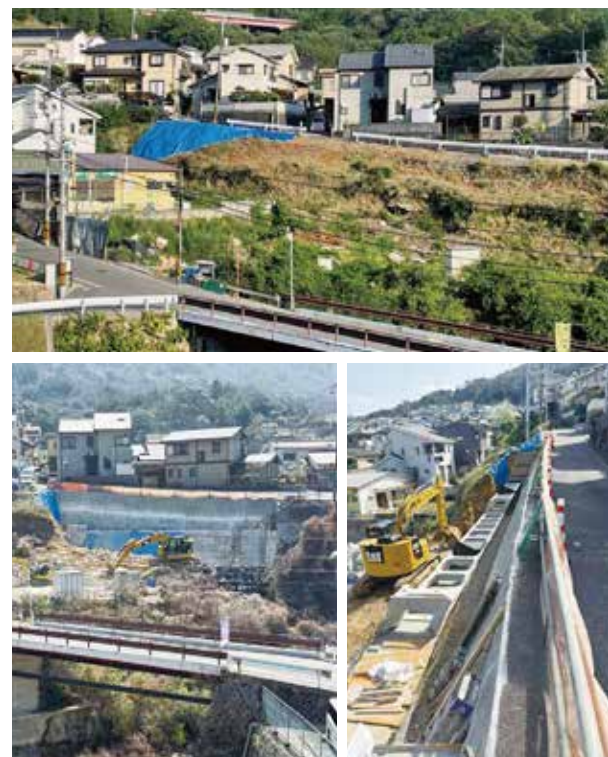
■ 福田8丁目道路改良

地権者のご寄付により、私道から市道へ。拡幅改良工事を進めています。



■ 上温品4丁目路肩改良

軟弱な路肩をコンクリート造りの強固な路肩に改良しています。



■ 中山中町ほか側溝ふたかけ

幅員が狭く車両通行時の脱輪等、危険防止のため、側溝にふたかけをし、車両も歩行者も安全に通行できるよう改良しています。



お知らせ

温品7丁目の一部歩道未整備区間の工事については、道路に隣接する府中大川の河川護岸も一部改良する必要があるため、非出水期(9月末～翌年6月初旬)に工事を行う必要があります。今年度、当該箇所の工事を行うべく、令和6年9月に入札公告を行ったところ落札せず、再度10月に2回目の入札公告を行いました。またも落札しませんでした。このため、非出水期での工事完成が困難になり、やむを得ず、今年度の工事発注を見送ることとなりました。

今後の予定としては、令和7年度、改めて工事発注することとしています。何卒よろしくお願い申し上げます。



東区 広島市議会議員・ひろしま清風会

森 畠 秀 治

〒732-0033 広島市東区温品五丁目2-19 岩本ビル201
TEL/082-289-2356 FAX/082-847-4411

主なプロフィール

- 広島市監査委員
- ひろしま清風会 幹事長
- 安心社会づくり対策特別委員会 委員長
- 消防上下水道委員会 委員長
- 文教委員会 委員長
- 建設委員会 委員長
- 経済観光・環境委員会 委員長
- 広報委員会 委員長
- 政令指定都市議員連絡協議会 副幹事長
- 広島市ベタング協会 会長
- 社会福祉法人 理事
- 広島菊友会 参与
- 学区体育協会 顧問 など

■ホームページ <https://www.moribatake.jp>
■Facebook <https://www.facebook.com/moribatake.shuji>



討議資料

発行／森畠秀治政務調査事務所

Vol.29

もりばたけ 秀治

この町を、
守る
SUPPORT OUR TOWN

■ 令和7年3月予算特別委員会 森畠秀治の質問

ポリファーマシー対策について

ポリファーマシーとは、多種類の薬の服用によって、副作用などの有害事象につながる可能性がある状態のこと。

一般的には、5～6種類以上の薬を併用していると薬物有害事象が発生するリスクが高まるといわれており、代表的な症状としては「認知機能の低下」、「暴力・暴言」、「ふらつき・転倒」、「食欲不振」などが報告されている。おもに高齢者に多くみられる問題で、高齢になると複数の慢性疾患を患うケースが増え、病気の数だけ薬の種類が増えていき、病気を治すどころか重篤なものだと死につながり、大変危険だ。

本市では、服薬情報を記載した通知書を送付し、かかりつけの医師、薬剤師への相談を促す事業を実施し、薬の処方に改善の余地がある場合は、薬の種類や数量の見直しを検討するという流れになっている。しかし、実際に相談された方は通知者数43,277人のうち1,085人と、わずか2.5%にとどまり、十分な事業効果が得られているとはいえない。

服薬情報共有のために、より一層スピード感をもって、ICT化を推進するべきである。



街路樹再整備方針の策定について

本市の多くの街路樹は高度経済成長期に植えられたもので、40～50年経過している。

現在は老朽化も進み、強風などでの倒木のリスクが高まり、人や車への被害、また上下水道やガス管等のインフラとの干渉も問題になっている。とはいえ、街路樹はヒートアイランド現象の緩和やCO₂の吸収、生物多様性の保全、さらには都市の景観を形作る重要な要素でもあり、都市の持続可能な発展や安全性向上のために必要だ。インフラとの調整や環境対策を総合的に考え、長期的な視点で管理していかなければならない。



街路樹の伐採や再整備には、景観や環境への影響を懸念する住民がいる一方で、落ち葉や害虫被害などを理由に撤去して欲しいという声もあり、意見が分かれることが多く合意形成は不可欠だ。なお、植え替えには従来の樹種では気候変動に対応できない可能性もあり、耐暑性や耐寒性、成長速度などを考慮した植栽計画を立てる必要がある。花粉の少ない樹種を選ぶことも大事だ。街路樹再整備については「適切な樹種選定」、「計画的な植え替え」また今後は樹木のデータベースを構築し、成長状況や健康状態を把握するなど、デジタル技術を活用することが重要である。

深川福田線について

令和5年の予算特別委員会で追求した、深川福田線道路整備事業の計画図ができました。

東区側の工事完了後、引き続き安佐北区側の整備を着実に進めるよう強く要望しました。



中山アンダー周辺道路の渋滞対策について

朝ラッシュ時の渋滞状況

図1

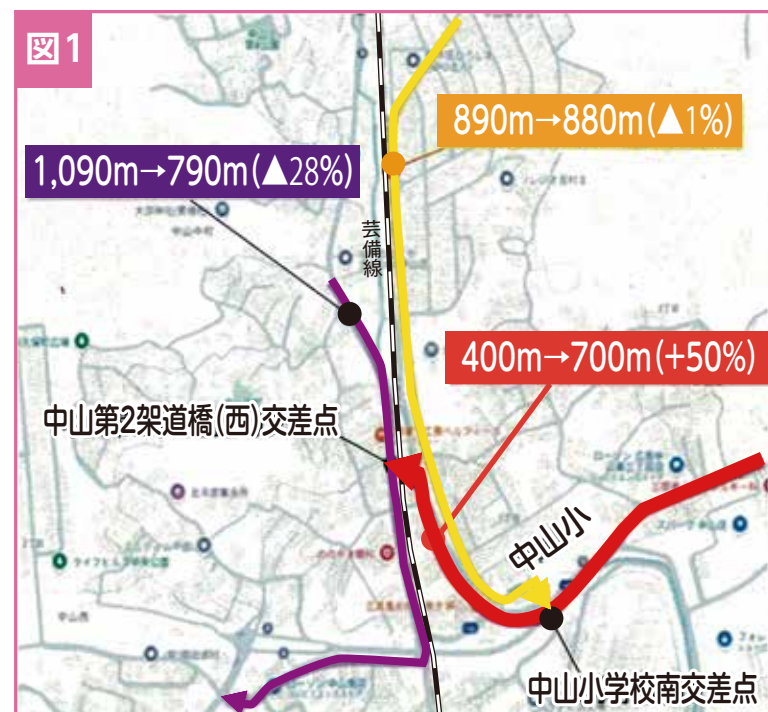
中山アンダー開通前後の最大渋滞長の変化では、中山小横 市道を通り抜けて戸坂方面に向かうルートでの渋滞長が増加(+50%)している。

図2

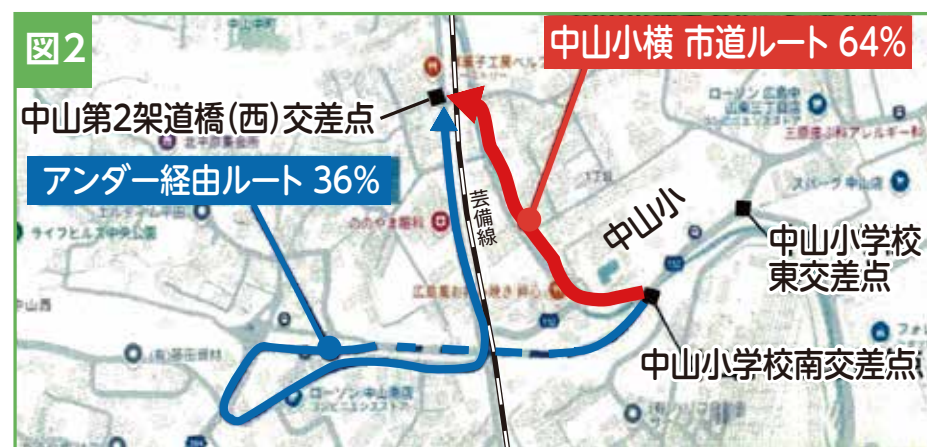
温品・府中から戸坂方面への通行は、アンダー経由ルートより、中山小横 市道ルートを利用する割合(64%)が高い。

表1

一方で、アンダー経由ルートの所要時間は、中山小横 市道ルートより混雑時、非混雑時共に早い。



【図1】朝ラッシュ時の最大渋滞長



【図2】温品・府中方面から戸坂方面への通行経路の利用割合

表1 府中(中山小学校東交差点)→戸坂方面(中山第2架道橋(西)交差点)へ			
移動経路		混雑時	非混雑時
アンダー経由ルート		5分00秒	3分33秒
参考:中山小横 市道ルート(抜け道)		8分00秒	4分07秒

【表1】アンダー経由ルートの所要時間

夕方ラッシュ時の渋滞状況

図3

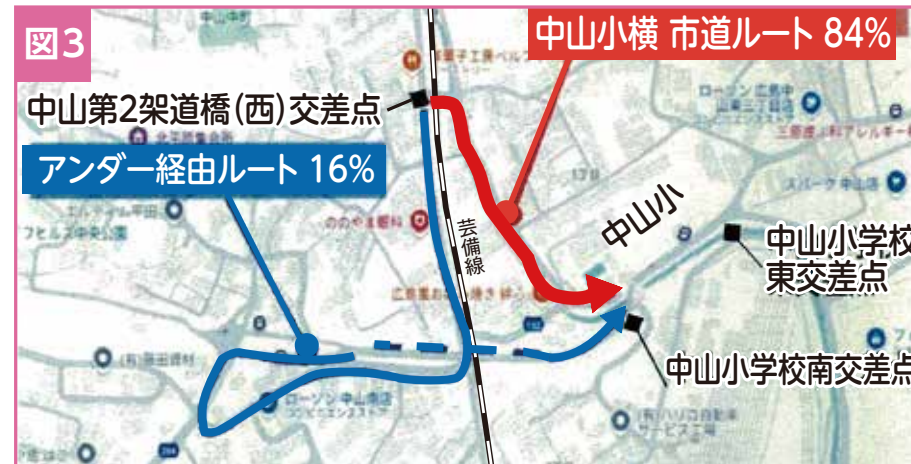
戸坂から温品・府中方面への通行は、アンダー経由ルートより、中山小横 市道ルートを利用する割合(84%)が非常に高い。

図4

中山アンダー開通前後の最大渋滞長の変化では、中山南一丁目交差点を先頭に戸坂方面への渋滞長が増加(+8%)している。

表2

アンダー経由ルートの利用を促すため、所要時間を短縮する必要がある。



【図3】戸坂から温品・府中方面への通行経路の利用割合

表2 戸坂(中山第2架道橋(西)交差点)→府中方面(中山小学校東交差点)へ			
移動経路		混雑時	非混雑時
アンダー経由ルート		7分49秒	4分33秒
参考:中山小横 市道ルート(抜け道)		3分29秒	2分49秒

【表2】アンダー経由ルートの所要時間



【図4】夕方ラッシュ時の最大渋滞長

対策案

A アンダー経由ルートの優位性を周知する。

B アンダー経由ルートのストレス軽減を図るため、**青信号のタイミングの連動調整**(県警と調整中)を行う。

C 今後の工事に伴い中山小横 市道への進入を禁止する機会を利用して、**アンダー経由ルートの利用定着を促進**する。

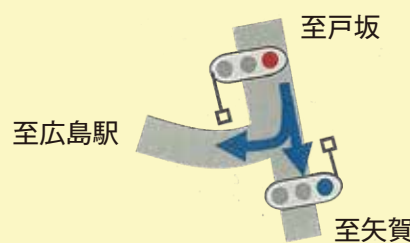
D 中山南一丁目交差点の右折車の処理を向上する**信号機を時差式に変更**する。(県警と調整中)

A～Dの対策を実施しても渋滞が緩和されなかった場合

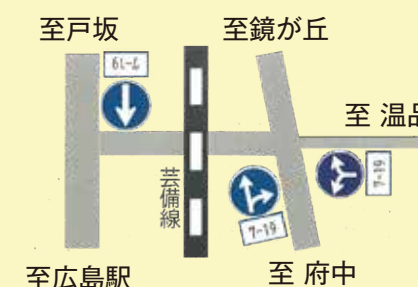
E 中山第2架道橋(ガード下)の交通規制(7:00～19:00)を検討する(地元同意が条件)

B 青信号のタイミング連動調整

D 信号機を時差式信号に変更



E ガード下の交通規制



A 時間短縮を周知するチラシを配布

A アンダー経由ルートの利用を促す仮設標識を設置



急がば回れ
右折待ち
5台あったら
直進へ



※イメージです

C アンダー経由ルートの利用定着を促進